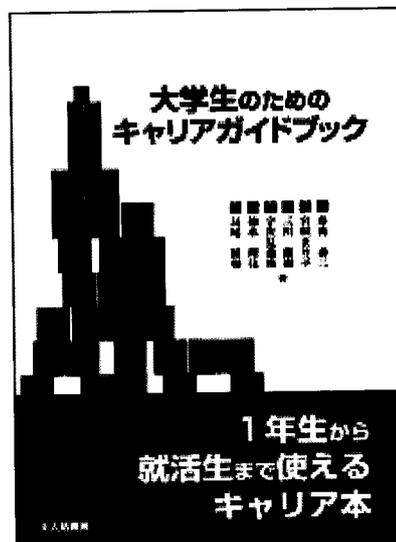


## <会員による自著紹介>

# 大学生のためのキャリアガイドブック

寿山泰二<sup>1)</sup>・宮城まり子<sup>2)</sup>・  
三川俊樹<sup>3)</sup>・宇佐見義尚<sup>4)</sup>・  
柏木理佳<sup>5)</sup>・長尾博暢<sup>6)</sup> 著

- 1) 京都創成大学
- 2) 法政大学
- 3) 追手門学院大学
- 4) 亜細亜大学
- 5) 嘉悦大学
- 6) 追手門学院大学



北大路書房 (2009年発行)  
定価 1,890円 (税込)

本書は、目先の就職支援を目的とした単なる自己理解や職業理解を中心としたキャリアデザイン本でもなく、内定取得だけをゴールとするテクニック等に終始した就活本でもない。大学4年間を通して主体的にみずからの人生の選択・設計ができるように、大学生の「自立」「自律」を目的とした、大学時代には是非とも学ぶべき「哲学」を有した骨太のキャリア本である。各項目の最後に各執筆者の「哲学」とも言うべき一番伝えたいメッセージを「ポイント」として記している。このメッセージの意味を十分に理解・実践できれば、どんなに就職環境が厳しい時代においても、本書で身につけた「生きる力」で、卒業後の進路先・就職先を切り開き、満足のいくものに変えていくことができるものと確信している。

本書の構成は、第1章においては、高校から大学への移行にともなう諸問題に対処する「初年次教育」を、第2章は、大学で今後の人生の選択・設計を支援する本来の「キャリア教育」を、第3章は、大学生活で身につけたキャリアを実社会で活かす「就職活動」を、第4章は、女性特有の生き方に焦点をあてた「ワークライフバランス」を、第5章は、大学でのキャリアに関する諸問題に困った時のために「キャリアカウンセリング」を取り上げている。大学4年間で必要とされる「キャリア」を1冊で理解し、身につけられるように工夫されている。

また、本書独自の特徴として、第1~4章までは2ページ見開きで、第5章は1ページで1つの項目を完結する大学生にとって実践的でわかりやすい内容にした。枝葉末節よりも幹となるものを伝えるこれまでにない画期的なキャリアガイドブックを活用して、ひとりでも多くの大学生が充実した有意義な大学生活を送り、自己実現を達成することを心から祈念している。